

横浜市 人材育成指標【教員版】

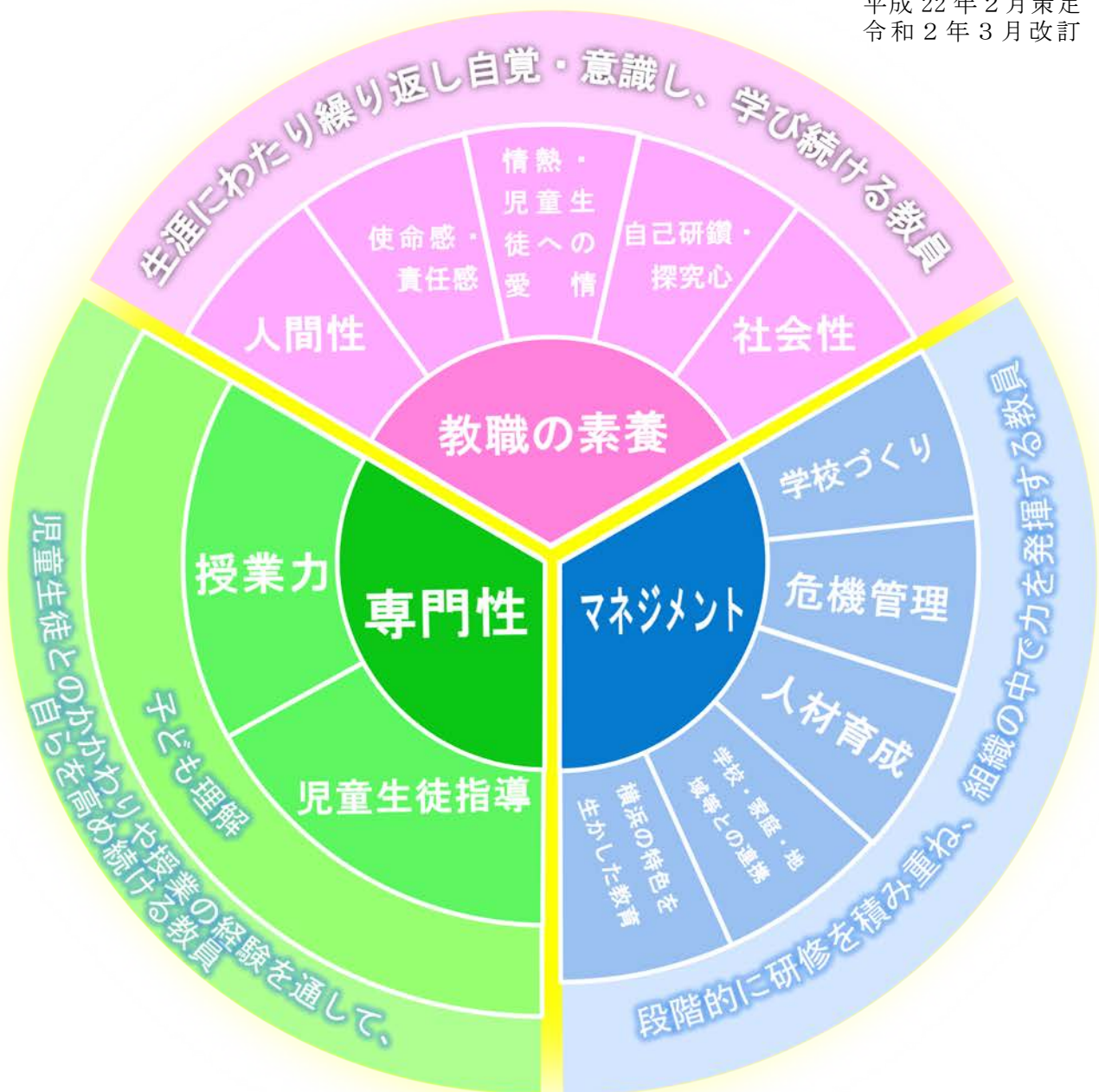
横浜市の教員が身に付けるべき3つの資質・能力は

「教職の素養」「専門性」「マネジメント」です。

円の外側に「どのように身に付けていくべき資質・能力なのか」について、それぞれの特質に合わせた方法を示しています。

資質・能力の中でも、特に「専門性」は、児童生徒とのかかわりや授業の経験を通すことで、その力が高まっていきます。また、「専門性」を構成する「授業力」と「児童生徒指導」には、生活背景も含めた子ども理解が基本にあり、インクルーシブ教育やキャリア教育の考え方が基礎となっています。

平成 22 年 2 月策定
令和 2 年 3 月改訂



横浜市 人材育成指標【教員版】

さらに3つの資質・能力を構成する要素及び要素を捉える視点については、この表で示しました。

目指す教員像	資質・能力	要素	視点	
生涯にわたり繰り返し学び続ける教員 自覚・意識し、	教職の素養	人間性	<ul style="list-style-type: none"> ○教育に関する理念 ○人権感覚 ○多様性の尊重 ○倫理観 ○共感する力・受け止める力 	
		使命感・責任感	<ul style="list-style-type: none"> ○教育公務員としての使命感 ○教育公務員としての責任感 	
		情熱・児童生徒への愛情	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情 ○誇りと情熱 	
		自己研鑽・探究心	<ul style="list-style-type: none"> ○課題発見・解決能力 ○向上心 ○創造力 ○自己省察 	
		社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション能力 ○人間関係構築力 ○市民意識 ○信頼 	
児童生徒とのかかわりや授業の経験を通して、 自らを高め続ける教員	専門性	子ども理解	授業構想	<ul style="list-style-type: none"> ○「社会に開かれた教育課程」の実現 ○深い教材解釈・幅広い教材開発 ○専門性の追究
			授業展開	<ul style="list-style-type: none"> ○授業形態や指導方法の工夫 ○指導技術の向上 ○授業研究の推進
			評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> ○学習評価の理解 ○指導と評価の一体化 ○不断の授業改善 ○教育課程の改善
		児童生徒指導	児童生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> ○人権教育の推進 ○カウンセリングマインドに基づいた指導や支援 ○的確な実態把握と指導
			集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○学級経営の充実 ○協働的な活動の充実 ○いじめや不登校の未然防止と対応
			教育的ニーズに対応した指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた指導や支援の工夫 ○校内支援体制の推進・整備 ○関係機関等との連携
段階的に研修を積み重ね、 組織の中で力を発揮する教員	マネジメント	学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○学校経営ビジョンの理解 ○学校経営への参画 ○組織の活性化への寄与 ○目標の実現に向けた実行力 ○学校評価・財務管理 	
		危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○防災 ○防犯・安全 ○法令遵守（不祥事防止） ○学校事故の未然防止と対応 	
		人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア・デザイン ○協働性 ○自己管理（メンタルヘルス） ○後進の育成 ○人材活用・管理 	
		学校・家庭・地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わり ○学校運営協議会 ○資源の活用 ○発信・広報 ○学校間の連携の促進 	
		横浜の特色を生かした教育	<ul style="list-style-type: none"> ○都市が抱える教育課題への対応 ○グローバル人材の育成 ○つながりを重視した教育の充実 ○自分づくり教育の推進 ○働き方改革に資する業務改善 	

横浜市 人材育成指標【養護教諭版】

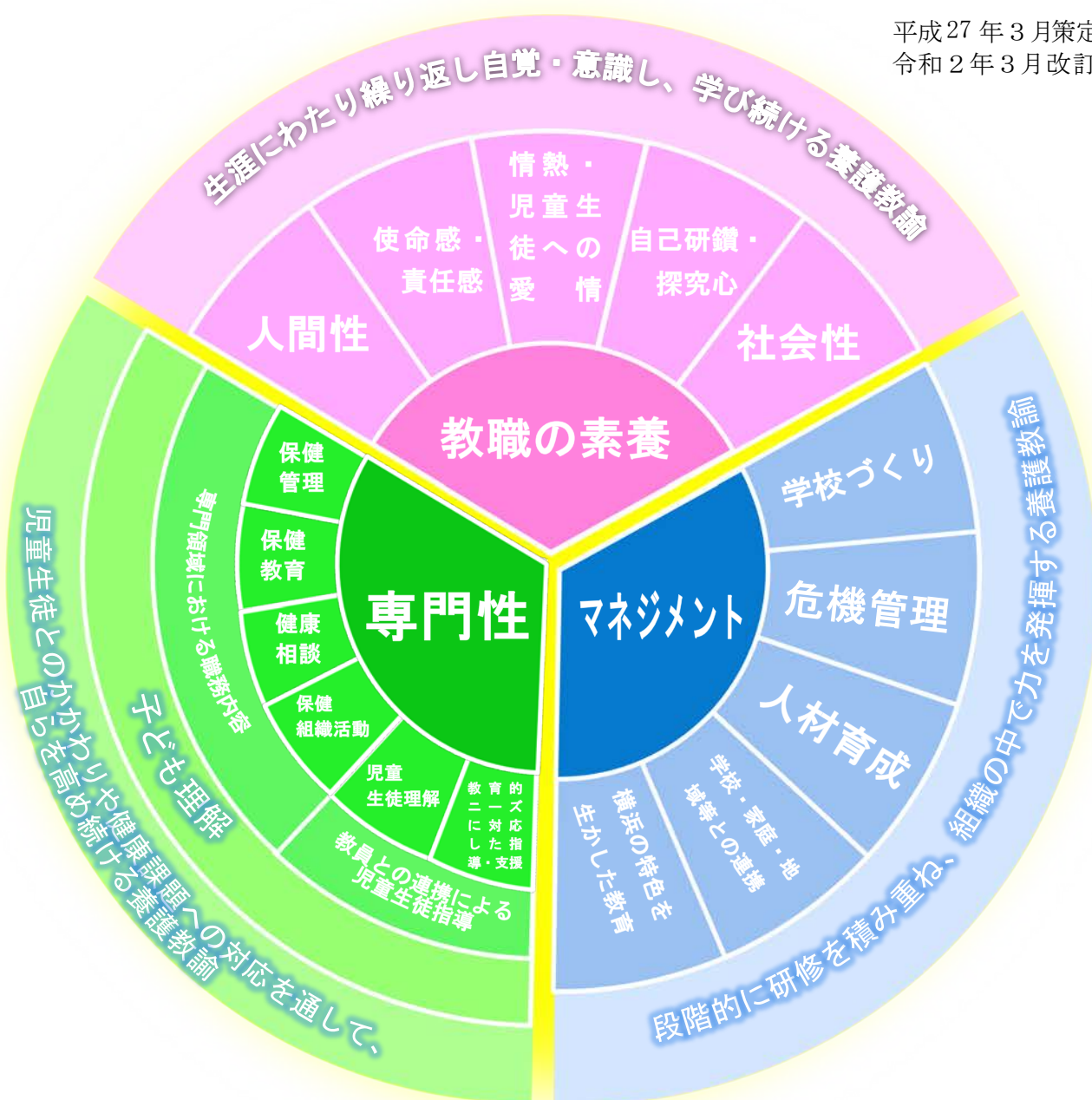
横浜市の養護教諭が身に付けるべき3つの資質・能力は

「教職の素養」「専門性」「マネジメント」です。

円の外側に「どのように身に付けていくべき資質・能力なのか」について、それぞれの特徴に合わせた方法を示しています。

資質・能力の中でも、特に「専門性」は、児童生徒とのかかわりや健康課題への対応を通すことで、その力が高まっていきます。また、「専門性」を構成する「専門領域における職務内容」と「児童生徒指導」には、生活背景も含めた子ども理解が基本にあり、インクルーシブ教育やキャリア教育の考え方が基礎となっています。

平成27年3月策定
令和2年3月改訂



横浜市 人材育成指標【養護教諭版】

さらに3つの資質・能力を構成する要素及び要素を捉える視点については、この表で示しました。

目指す 教員像	資質・能力	要素	視点		
生涯にわたり 学び続ける 養護教諭	教職の素養	人間性	<ul style="list-style-type: none"> ○教育に関する理念 ○人権感覚 ○多様性の尊重 ○倫理観 ○共感する力・受け止める力 		
		使命感・責任感	<ul style="list-style-type: none"> ○教育公務員としての使命感 ○教育公務員としての責任感 		
		情熱・児童生徒への愛情	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情 ○誇りと情熱 		
		自己研鑽・探究心	<ul style="list-style-type: none"> ○課題発見・解決能力 ○向上心 ○創造力 ○自己省察 		
		社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション能力 ○人間関係構築力 ○市民意識 ○信頼 		
児童生徒との 自らを高め続ける 養護教諭	専門性	子ども理解	専門領域における職務内容	保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ○健康観察や健康診断の実施と保健情報の管理 ○健康課題の把握 ○救急処置の実施と組織体制の整備 ○危機管理への対処
				保健教育	<ul style="list-style-type: none"> ○保健安全教育への参画 ○学級担任等と連携した保健安全教育の実施 ○個別指導
				健康相談	<ul style="list-style-type: none"> ○健康相談の理解と実施 ○教職員との協働・関係機関等との連携 ○いじめ・虐待等への対応 ○組織的な対応の推進
				保健組織活動	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒主体の保健組織活動の推進 ○教職員と連携した保健組織活動の推進 ○家庭・地域社会と連携した健康づくりの推進 ○健康安全に関する校内研修の実施
		<small>教員との連携による 児童生徒指導</small>	児童生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> ○人権教育の推進 ○カウンセリングマインドに基づいた指導や支援 ○的確な実態把握と指導 	
			教育的ニーズに対応した指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた指導や支援の工夫 ○校内支援体制の推進・整備 ○関係機関等との連携 	
組織の中で力を 発揮する 養護教諭	マネジメント	学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○学校経営ビジョンの理解 ○学校経営への参画 ○組織の活性化への寄与 ○目標達成への実行力 ○学校評価・財務管理 ○学校保健活動のセンター的役割を果たす保健室経営 		
		危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○防災 ○防犯・安全 ○法令遵守（不祥事防止） ○学校事故の未然防止と対応 		
		人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア・デザイン ○協働性 ○自己管理（メンタルヘルス） ○後進の育成 ○人材活用・管理 		
		学校・家庭・地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わり ○学校運営協議会 ○資源の活用 ○発信・広報 ○学校間の連携の促進 		
		横浜の特色を生かした教育	<ul style="list-style-type: none"> ○都市が抱える教育課題への対応 ○グローバル人材の育成 ○つながりを重視した教育の充実 ○自分づくり教育の推進 ○働き方改革に資する業務改善 		

横浜市 人材育成指標【学校栄養職員・栄養教諭版】

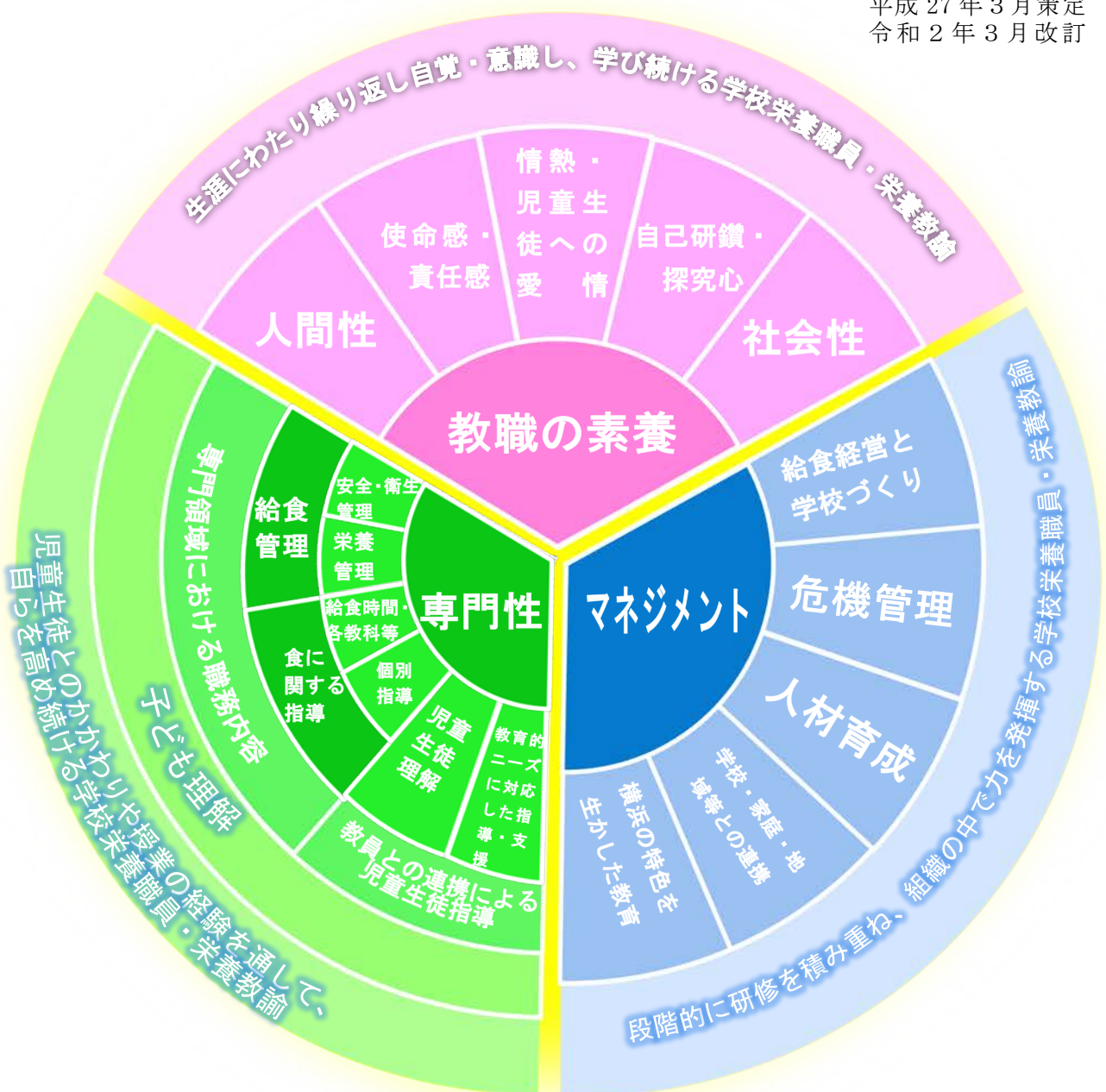
横浜市の学校栄養職員・栄養教諭が身に付けるべき3つの資質・能力は

「教職の素養」「専門性」「マネジメント」です。

円の外側に「どのように身に付けていくべき資質・能力なのか」について、それぞれの特質に合わせた方法を示しています。

資質・能力の中でも、特に「専門性」は、児童生徒とのかかわりや授業、日々の業務経験を通すことで、その力が高まっていきます。また、「専門性」を構成する「専門領域における職務内容」と「児童生徒指導」には、生活背景も含めた子ども理解が基本にあり、インクルーシブ教育やキャリア教育の考え方が基礎となっています。

平成27年3月策定
令和2年3月改訂



横浜市 人材育成指標【学校栄養職員・栄養教諭版】

さらに3つの資質・能力を構成する要素及び要素を捉える視点については、この表で示しました。

目指す 教員像	資質・能力	要素	視点		
生涯にわたり繰り返し自覚・意識し、 学び続ける学校栄養職員・栄養教諭	教職の素養	人間性	<ul style="list-style-type: none"> ○教育に関する理念 ○人権感覚 ○多様性の尊重 ○倫理観 ○共感する力・受け止める力 		
		使命感・責任感	<ul style="list-style-type: none"> ○教育公務員としての使命感 ○教育公務員としての責任感 		
		情熱・児童生徒への愛情	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情 ○誇りと情熱 		
		自己研鑽・探究心	<ul style="list-style-type: none"> ○課題発見・解決能力 ○向上心 ○創造力 ○自己省察 		
		社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション能力 ○人間関係構築力 ○市民意識 ○信頼 		
児童生徒とのかかわりや授業の経験を通して、 自らを高め続ける学校栄養職員・栄養教諭	専門性	子ども理解	専門領域における職務内容	給食管理	<ul style="list-style-type: none"> ○安全・衛生管理 ○施設・設備の衛生管理 ○作業工程・動線の衛生管理 ○食物アレルギー等の危機管理の対応
				栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食摂取基準 ○食事内容の充実 ○栄養指導
		教員との連携による 児童生徒指導	食に関する指導	給食時間・各教科等	<ul style="list-style-type: none"> ○給食時間の指導 ○教科・領域等における教科指導 ○献立の教材化
				個別指導	<ul style="list-style-type: none"> ○食物アレルギー対応 ○肥満や痩身傾向及び偏食傾向等の児童生徒への指導 ○担任、養護教諭との連携
				児童生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> ○人権教育の推進 ○カウンセリングマインドに基づいた指導や支援 ○的確な実態把握と指導
				教育的ニーズに対応した指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた指導や支援の工夫 ○校内支援体制の推進・整備 ○関係機関等との連携
段階的に研修を積み重ね、組織の中で力を発揮する 学校栄養職員・栄養教諭	マネジメント	給食経営と学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○学校経営ビジョンの理解と給食管理 ○学校経営への参画 ○組織の活性化への寄与 ○目標の実現に向けた実行力 ○学校評価・財務管理 		
		危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○防災 ○防犯・安全 ○法令遵守（不祥事防止） ○学校事故の未然防止と対応 		
		人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア・デザイン ○協働性 ○自己管理（メンタルヘルス） ○後進の育成 ○人材活用・管理 		
		学校・家庭・地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わり ○学校運営協議会 ○地域・関係機関との連携 ○発信・広報 ○学校間の連携の促進 		
		横浜の特色を生かした教育	<ul style="list-style-type: none"> ○都市が抱える教育課題への対応 ○グローバル人材の育成 ○つながりを重視した教育の充実 ○自分づくり教育の推進 ○働き方改革に資する業務改善 		